

中小企業等特許情報分析活用支援事業（2019年度）



- 特許情報分析に基づいて、無駄な研究開発投資を回避する研究開発戦略やオープン・クローズ戦略を策定することにより、**個々の中小企業等における効果的な権利化等の知財活用を実現。**
- 支援を通じて得られた活用事例の公表等を通じて、**特許情報分析の有用性を普及・啓発。**

※本事業は特許庁が2015年度から開始し、2017年度よりINPITに移管されたもの。

支援策の概要（委託先：一般社団法人 発明推進協会）

中小企業等の費用負担が重い先行技術調査について、各段階（右図）のニーズに応じた包括的な先行技術調査を支援し、**効果的な権利化等の知財活用が実現。**

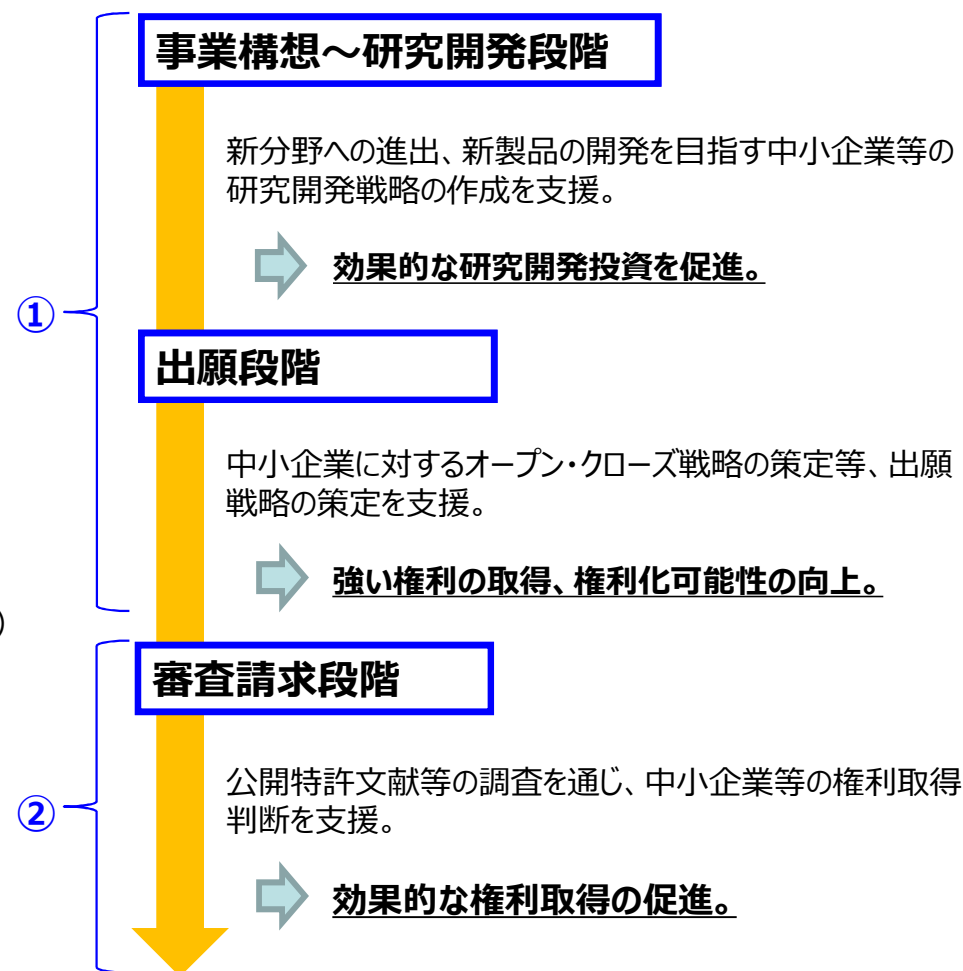
①「事業構想～研究開発」「出願」段階（2019fy支援予定：100件）

- ✓ 特許マップ等の作成及び企業訪問を通じた特許情報分析活用支援
- ✓ 利用者自己負担無し（1件あたり100万円を上限）
- ✓ 公募スケジュール（各回20件程度採択予定） ※2018fy実績：92件
 - 第一回公募 4月17日～5月17日【終了】
 - 第二回公募 5月20日～6月26日【終了】
 - 第三回公募 6月27日～8月7日【終了】
 - 第四回公募 8月8日～9月25日【受付中】
 - 第五回公募 9月下旬～11月上旬
 - 第六回公募 2月上旬～3月下旬 } 予定(第六回は2020fy支援の公募)

②「審査請求前」段階（2019fy支援予定：100件）

- ✓ 特許出願したものについて先行技術調査報告書を提供
- ✓ 最低1万円の利用者自己負担有り（必須となる国内特許文献調査は各社7万円。外国文献等をオプションで追加可能）
- ✓ 申込受付スケジュール ※2018fy実績：80件
5月20日から受付開始【随時受付中】

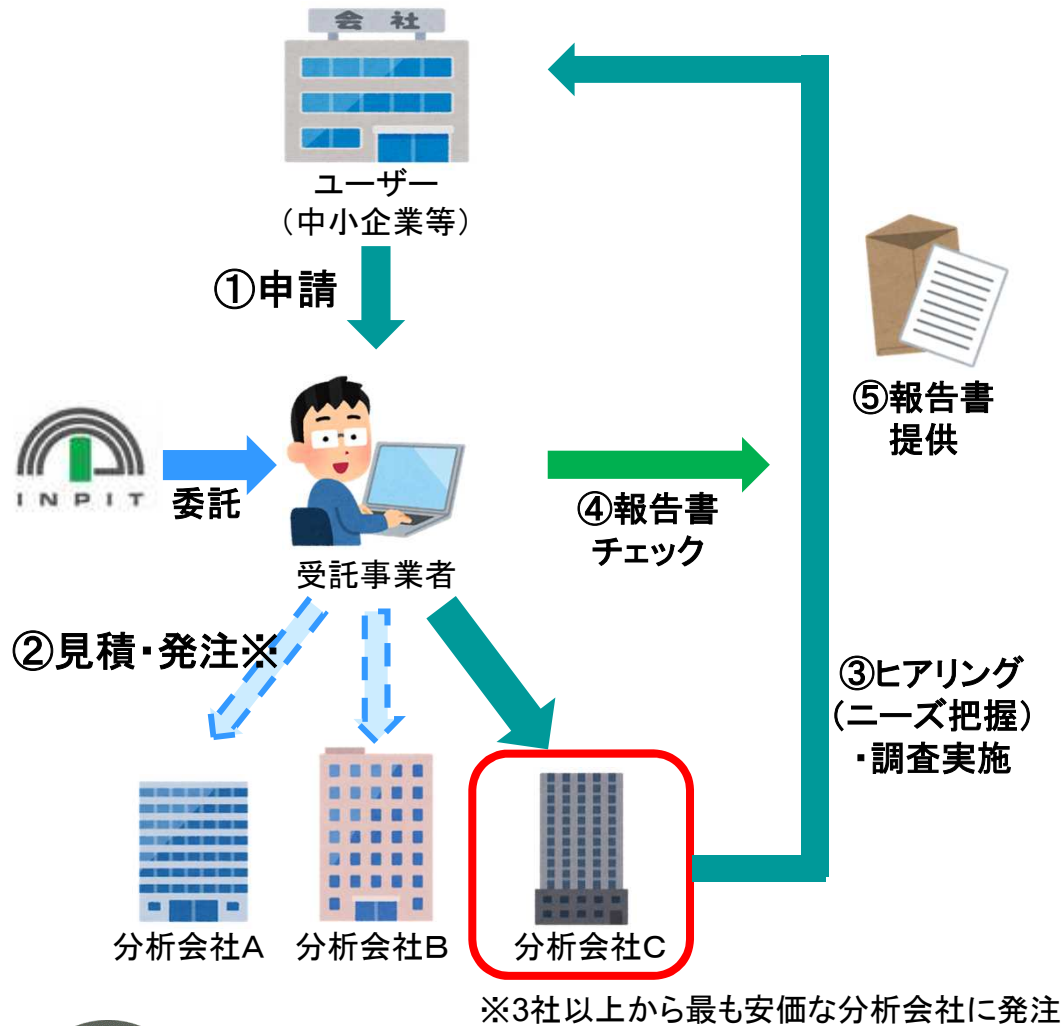
包括的な先行技術調査



特許情報分析活用支援事業の実施フロー

本事業への応募方法や採択基準などについて、
ウェブページで詳細をご案内しております。
<https://ip-bunseki.inpit.go.jp/>

①「事業構想～研究開発」、「出願」段階



②「審査請求前」段階

